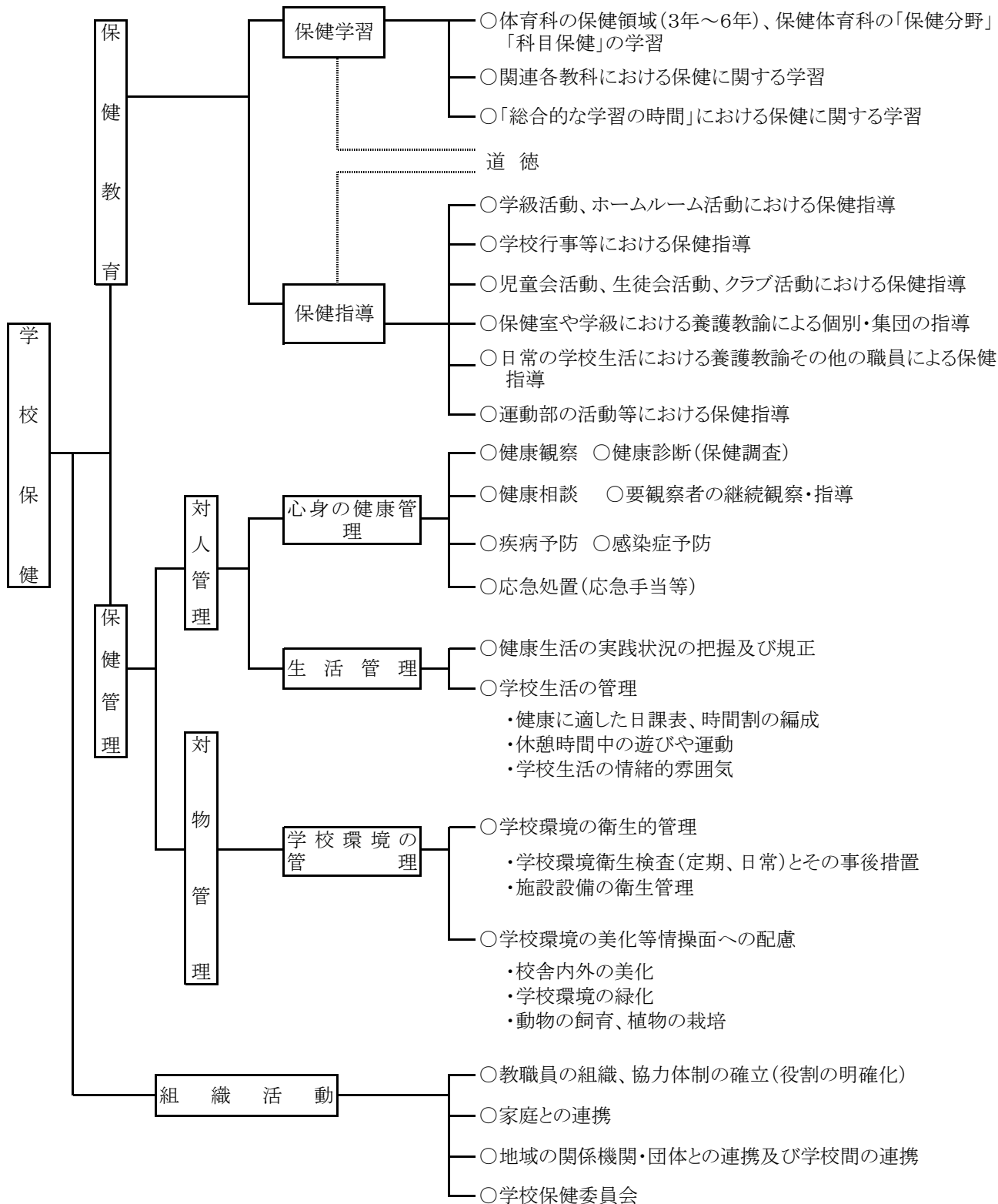


第3 学校保健

1 学校保健の意義

学校保健は、「学校における保健教育と保健管理をいう。」(文部科学省設置法第4条第12号)とされているように、保健教育と保健管理の活動を適切に行うことによって児童生徒や教職員の健康を保持増進し、心身ともに健康な国民の育成を図るという教育目標の達成に寄与することを目指して行われる活動のことをいうものである。そして、保健教育と保健管理の活動を円滑、かつ、成果が上がるように進めるためには、教職員が役割を分担して活動を組織的に推進することができるような協力体制を確立するとともに、家庭や地域の関係機関・団体との連携を密にするための学校保健に関する組織活動の充実と組織の整備が不可欠な条件となる。



2 学校保健計画

保健管理、保健教育などの学校保健活動を円滑に実施するためには、学校保健安全法第5条に定める学校保健計画を作成し、実施しなければならない。内容としては、児童生徒等及び職員の健康診断、環境衛生検査、児童生徒等に対する指導に関することが含まれている必要がある。次ページからは、その例である。

小学校保健計画例 * 保健目標 心身ともに健康な生活を送る実践力の基礎を養う

区分 月	月の重点	学校保健 関連行事	保健管理		保健		教育			道徳の時間 ()は内容項目	総合的な 学習の時間 (健康 の分野)	組織活動 (職)職員保健部会 (P)PTA保健部 (学)学校保健委員会 ◎学校医、学校歯科医師、 学校薬剤師等との連携 ☆家庭・地域との連携
			対人管理	対物管理	保健学習		保健指導					
					体育「保健領域」	関連教科	学級活動(*1時間・20分程度)	個別・日常指導	児童会(保健)			
4	自分のからだ を知ろう 学校をきれいに しよう	・入学式 ・始業式 ・定期健康診断 ・大掃除	・保健調査や健康観察 の要領の確認 ・健康診断と事後措置 ・身体計測 ・内科検診 ・結核検診事前調査 ・歯科検診 ・視力検査 ・ぎょう虫検査 ・治療勧告 ・健康相談 ・職員健康診断	・清掃計画配布 ・大掃除 ・日常点検の励行 ・飲料水検査 [定期] ・机、椅子の整備	生活(1年) なかよくいっばいだい さくせん 家庭(5年) 家族とくらすわたしの 生活	1年*ささいにのらない ・おいしいきゅうしょく 2年*じょうずなそうじ 3年*そうじのやりかた 4年*そうじの仕方の工夫 5年*学校をきれいにしよう 6年*清掃オリエンテーション 全・健康診断の受け方	・清掃指導 ・歯みがき指導 ・治療勧告 ・トイレの使い方 ・個別指導の 指導体制を 整えて随時 行なう ・「きいてみよう 自分の健康」	・代表委員会 各委員会発 足 ・1年生を迎 える会 ・委員会報告 (活動予定) 集会 ・オアシス運 動推進 ・ポスター作 成	1年(4③愛校心) たのしいがっこう 2年(2③)友情 ないた たぬき 3年(4③家庭愛) ブラッドレーのせ いきゅう書 5年(2②親切) 父の言葉 6年(3①自然愛) ハスの実	3、4、5、6年 オリエンテー ション	(職)・組織編成・学校 保健計画の理解と確認 を含めた研修・実施及 び評価等の役割分担・ 保健だより及び月間計 画発行(毎月)・健康 診断票の確認・4月行 事等の評価と5月の計 画確認 (P)・組織編成・学校 保健計画の理解と活動 計画の作成	
5	病気を早く治 そう	・定期健康診断 ・家庭訪問 ・校外学習	・健康診断と事後措置 ・結核検診 ・尿検査 ・耳鼻科検診 ・眼科検診 ・視力検査 ・聴力検査 ・歯みがき指導(1年) ・治療勧告	・机、福子の整備等 ・飲料水検査 [定期] ・照度及び照明環境 ・騒音環境及び 騒音レベル ・学校の清掃	5年 (5時間) けがの防止	生活(1年) がっこうをたんけんしよ う あさがおさんをそだてよう 理科(3年) 植物のからだをしらべよう (5年) 植物の発芽と成長 家庭(6年) 家族が喜ぶおかず	1年・きゅうしょくとうばんをが んば ろう 2年・えんそくを楽しく 3年・私たちのからだ・遠足を楽し く 4年・食事の衛生・遠足を楽し く 5年・心と体の成長*初経と精通 6年*給食とマナー 全・体や衣服を清潔にしよう	・歯みがき指導 ・治療勧告 ・基本的な生 活のあり方 ・「きいてみよ う自分の健 康」の個別 指導を随時 行なう	・代表委員会 ・委員会 ・クリーン集 会	1年(4②家庭愛) おてつだい 2年 目③勇氣) ほく、よびにいって くる 3年(3②生命尊 重)子リスと母ネコ 4年(3②生命尊 重)ヒキガエルとロバ	(職)・健康診断にかか わる検診要綱配布・保 健統計集計・第1回学 校保健委員会準備・資 料作成・5月行事等の 評価と6月の計画確認 ☆学校保健会定期総 会	
6	歯を大切にし よう	・歯の衛生週間 ・歯垢染めだし 検査 ・プール清掃 ・プール開き ・教育相談 ・学校保健委員会	・歯みがき指導	・飲料水検査 ・プール清掃 [定期] ・学校給食 ・水泳プール ・水飲み場等 ・足洗い場 ・便所 ・ごみ ・ネズミ等	5年 (3時間) 心の健康 6年 (8時間) 病気の予防	生活(2年) 生きものをそだてよう 理科(5年) 魚や人のたんじょう (6年) 人と動物のからだ 家庭(5年) 見つめようわたし食生活	1年*だいーだいきゅうしをみがご う 2年*前歯をきれいにみがご う 3年*歯ならびにあったみがきかた ・けがの手当て 4年*むし歯のできやすいところを みがごう*男の子の子 5年・歯肉炎の観察をしよう ・雨の日のすし方を考えよう 6年*第二大臼歯を探ろう *性教育講演会 全・プールの権い方	・歯みがき指 導 ・雨の日の すし方 ・プール入水 確認 ・からだの清潔	・代表委員会 ・委員会 ・むし歯予防 集会 ・プール開き	1年(3①自然愛) わたしはもんしろ ちょう 2年(3②生命尊 重)ハムスター 4年(2③友情) 貝がら 5年(1①正直誠 実)手品師 6年3②生命尊重) 手のひらのかぎ	5年 心の世界 たんけん 隊(心)	(学)・第1回、組織計画、 歯の健康、食中毒等 (職)・第2回学校保健委員 会準備、資料作成、6月 行事等の評価と7月の計 画確認 (P)・学校保健委員会だ より作成 ◎歯科保健講習会 (教職員対象) ☆水難救助法講習会
7	プールのきま りを守ろう	・学校保健委員会 ・学校公開 ・大掃除 ・1学期終業式 ・林間学校	・結核検診事後措置 ・頭じらみ予防 ・夏休み中の健康生活 ・治療勧告確認再発行 ・定期健康診断結果集計 ・林間学校前検診 ・健康通知表 ・歯みがきカレンダー ・林間学校での健康管理	・飲料水検査 ・大掃除 [定期] ・水泳プール ・排水 ・教室等の空気	生活(1年) げんきにそだてあさが おさん 理科(4年) こん虫をしらべよう (5年) 花から実へ	1年生*みんなでやろうクリーンさ く せん 5年*給食と栄養 6年*楽しい林間学校にしよう 全・プールの決まりを守ろう ・夏休みの過ごし方を考えよう	・生活習慣実 態把握 ・清掃指導 ・歯みがき指 導 ・汗のしまつ	・代表委員会 ・委員会 ・七夕集会 ・夏休みの健康 生活について の啓発活動 ・学校保健委員 会発表資料 作成、参加、 報告	1年(3生命尊重) ふしぎなたね 2年(4②家庭愛) とつげんの雨ふり 3年(2②親切) おじさんの顔 4年(4③家庭愛) ほくの生まれた日 5年(2④謙虚寛容) すれちがい	6年 たばこ、 お酒、薬物と 私たち (薬物乱用 防止)	(学)・第2回、生活習慣 を見直そう、夏休みを 健康に楽しく過ごそう等 (職)・健康診断集計、7月 行事等の評価と9月の計 画確認 (P)・学校保健委員会だ より作成	
8	夏休みを楽し く健康にすご そう	・夏季休業	・病気の治療 ・夏休みの健康生活 ・歯みがきカレンダー ・親子歯垢染めだし検査	・プール衛生管理 ・黒板の点検修理 ・カーテンクリーニング								☆親子緑化作業

区分 月	月の重点	学校保健 関連行事	保健管理		保健		教育			道徳の時間 ()は内容項目	総合的な 学習の時間(健康 の分野)	組織活動 (職)職員保健部会 (P)PTA保健部 (学)学校保健委員会 ◎学校医、学校歯科医師、 学校薬剤師等との連携 ☆家庭・地域との連携
			対人管理	対物管理	保健学習		保健指導					
					体育「保健領 域」	関連教科	学級活動(*1時間 ・20分程度)	個別・日常指導	児童会(保健)			
9	健康な生活を おくらう	・2学期始業 式 ・大掃除 ・発育測定 ・水泳大会 ・運動会	・夏休み中の健康生活 の実践状況把握 ・歯垢染めだし検査ま とめ ・発育測定 ・疾病治療状況把握 ・規則正しい生活 ・運動会への健康管理	・プール衛生管理 ・飲料水検査 ・大掃除 ・運動場の整備 ・日常点検の励行 [定期] ・学校給食の食品 衛生		生活(1年) こうえんへいってあそぼう 理科(3年) 花と実をしらべよう 家庭(6年) まかせてねきょうの食事	1年*きれいなからだ 全・生活リズムについて考えよう ・運動会を元気でがんばろう ・簡単な応急手当	・清掃指導 ・歯みがき指 導 ・けがの予防	・代表委員会 ・委員会 ・ポスター作 成	1年(1①節度) あそべなかったえみこ 2年(3①自然愛) ひみつの ばしよ 3年(1①自立節 度)まさるの花火 4年(3③敬けん) つるの飛ぶ日 5年(3②生合尊重) とらねこじいちゃん 6年(3①自然愛) ふるさとと川	(職)・夏休みの健康 生活把握・9月行事 等の評価と10月の計 画確認 (P)・運動会への協 力 ☆運動会	
10	目を大切にし よう	・目の愛護週 間 ・移動教室 ・道徳地区公 開講座	・姿勢と健康 ・移動教室前検診 ・移動教室での健康管理 ・健康相談	・飲料水の検査 ・机、椅子点検 [定期] ・照度等 ・騒音環境等 ・学校の清潔 ・黒板の管理	3年 (4時間) 毎日の生活 と健康	生活(1年) あきとあそぼう (2年) たんけんほっけんたい ほうけん 社会(5年) 住みよいくらしと環境	1年・めのびよきとしせい 2年・目の病気としせい *すききらくなく食べよう 3年・目の病気の予防 *楽しい食事と食べ方 4年・目の病気の原因と予防 ・目の健康 5年・目の健康 6年・目の健康 *男らしさと女らしさ	・清掃指導 ・歯みがき指 導 ・正しい姿勢	・代表委員会 ・委員会 ・学校保健委 員会資料作 成	1年(3②生命尊 重)からすとはと 2年(4②家庭愛) よし子のおるすばん 3年(3②生命尊 重)お母さんかな いで 4年(3①自然愛) ハクチョウの湖・ 瓢湖 5年(4⑤家庭愛) たまご焼き	3年 からだの なぞをさ ぐれ! (生活習 慣病)	(職)・教室環境調 査・第3回学校保健 委員会準備、資料作 成・10月行事等の評 価と11月の計画確認 ◎健康課題講演会 (教職員対象) ☆学校保健研究 発表会
11	寒さに負けな い体をつくら う	・なかよし月 間 ・教育相談 ・歯垢染めだ し検査 ・学校保健委 員会 ・学校公開 ・就学時健康 診断	・就学時健康診断計画 と実施 ・持久走の健康管理 ・かぜやインフルエン ザの予防 ・手洗い、うがいの励 行 ・汗のしまつ ・心の健康への配慮 ・歯垢染めだし検査	・飲料水検査 ・換気検査	生活(1年) みんなだいすき 社会(5年) 住みよいくらしと環境 家庭(6年) くふうしよう快適な住まい方	1年*友だちとなかよく ・男の子女の子 2年* 赤ちゃんはどこから 3年* わたしとお父さん ・身のまわりのせいとん 4年* 男女仲よく ・相手の気持ちを考えて 5年* エイズの予防 ・男女の協力 6年* 病気の人のへの思いやり (エイズと人権) ・異性の友だち 全・楽しい学校にしよう	・歯みがき指 導 ・体力づくり ・なかよし月 間標語	・代表委員会 ・児童委員会 ・なかよし月 間資料作成 ・学校保健委 員会参加、 報告	1年(2③友情) 二わのこどり 2年(3②生命尊 重)ひまわり 3年(4①公德心・規 則尊重)水飲み場 4年(3②生命尊 重)山がくけいび隊 5年(3②生命尊 重)稲むらの火で 命を救え 6年(2③友情) 絵地図の思い出 (3②生命尊重) コイの命	3年 からだの なぞをさ ぐれ! (生活習 慣病)	(学)・第3回、姿勢 と視力を考えよう等 (職)・11月行事等の 評価と12月の計画確 認・なかよし月間・ 第4回学校保健委員 会準備、資料作成 ☆保健大会参加	
12	みんな仲よ くすごそう	・持久走大会 ・学校保健委 員会 ・個人面談 ・大掃除 ・2学期終業 式	・持久走大会に健康調 査、健康観察の強化 ・かぜやインフルエン ザの予防 ・手洗い、うがいの励行 ・欠席状況の把握 ・心の健康への配慮 ・歯みがきカレンダー	・飲料水検査 ・換気検査 ・ストープ管理 ・教室の空気	社会(6年) わたしたちの生活と政治 家庭(5年) 見つめようわたしの住まい方	1年* ふゆやすみだいさくせん 2年* わたしのたんじょう 全・持久走大会への健康管理 ・冬休みの過ごし方を考えよう	・清掃指導 ・歯みがき指 導 ・持久走の健 康指導 ・朝食の大切 さ	・代表委員会 ・委員会 ・クリーン委 員会	3年(2③友情) 友だち屋 4年(2②親切) だがし屋のおば ちゃん 6年(4②公德 心・規則尊重・権 利義務)ふくらん だリュックサック	(学)・第4回、エイ ズ、インフルエンザ の予防、心の健康等 (職)・12月行事等の 評価と1月の計画確 認 (P)・学校保健委員 会だより作成		

区分 月	月の重点	学校保健 関連行事	保健管理		保健		教育			道徳の時間 ()は内容項目	総合的な 学習の時間(健康 の分野)	組織活動 (職)職員保健部会 (P)PTA保健部 (学)学校保健委員会 ◎学校医、学校歯科医師、 学校薬剤師等との連携 ☆家庭・地域との連携
			対人管理	対物管理	保健学習		保健指導					
					体育「保健領域」	関連教科	字級活動(*1時間 ・20分程度)	個別・日常指導	児童会(保健)			
1	かぜやインフル エンザを予 防しよう	・3学期始業 式 ・大掃除 ・発育測定	・冬休みの健康生活状 態把握 ・健康観察の強化 ・かぜやインフルエン ザの予防 ・手洗い、うがいの励行 ・欠席状況の把握 ・戸外での運動の奨励 ・健康相談	・飲料水検査 ・換気検査 ・ストーブ管理 ・日常点検の励行 [定期] ・教室等の空気	4年 (4時間) 育ちゆく体 とわたし	生活(1年) ともだちをつくろう 家庭(5年) 協力して楽しく生活し よう	3年*男女の協力 4年*エイズってなあに 6年*生命の誕生 全・給食週間を考えよう ・かぜやインフルエンザを予防し よう	・清掃指導 ・歯みがき指 導 ・換気 ・かぜの予防 ・手洗いやう がい	・代表委員会 ・委員会 ・インフルエ ンザ予防集 会 ・ポスター作 成 ・学校保健委 員会費料作 成	1年(3①自然愛) チューリップ 2年(3①自然愛) 大きなあれどん ぐりくん 3年(4③家庭愛) プレゼント 4年(1①自立節 度)朝のマラソン 5年(2②親切) くずれ落ちたたん ボール箱 6年(4④勤労・奉 仕)私たちの小さな 駅	4年 わたした ちの命 (性)	(職)給食週間・第 5回学校保健委員会 準備、資料作成・1 月行事等の評価と2 月の計画確認 (P)学校保健委員 会のアンケート調査 ◎学校環境衛生講 習会(教職員対 象)
2	姿勢を正しく しよう 環境を整えよ う	・学校発表会 ・新1年生入 学説明会 ・教育相談 ・歯垢染め出し 検査 ・学校保健委 員会	・健康観察の強化 ・かぜやインフルエン ザの予防 ・手洗い、うがいの励 行 ・欠席状況の把握 ・歯垢染め出し検査	・飲料水検査 ・換気検査 ・ストーブ管理 [定期] ・学校の清潔	生活(1年) 学校を探検しよう 理科(5年) 魚の育ち方 (6年) 人と動物のからだ 家庭(6年) 生活時間や買い物の工 夫をしよう	3年・性被害の防止 4年・情報と私たち 5年・病気の人へのおもいやり 全・冬の健康について	・清掃指導 ・歯みがき指 導 ・換気 ・かぜの予防 ・手洗いやう がい	・代表委員会 ・委員会	1年(3②生命尊 重)あひるのがあこ 2年(3②生命尊 重)ミノムシ 3年(2②親切) ハンカチのぬくもり 4年(3②生命尊 重)人間愛の金メダル 5年(2③友情) 言葉のおくり物 6年(2⑤尊敬・感 謝)地震で学んだこ と		(学)第5回、環境 を考えよう、1年間 の健康生活の反省等 (職)2月行事等の 評価と3月の計画確 認 (P)学校保健委員 会だより作成	
3	耳を大切にし よう 1年間のまと めをしよう	・発育測定 (6年) ・大掃除 ・卒業式 ・修了式	・1年間の健康生活の 反省とまとめ ・次年度の学校保健計 画検討 ・健康診断実施計画等 の作成	・飲料水検査 ・日常点検 ・ストーブ管理 ・保健室の整備 ・学校環境衛生検 査結果等のまと めと次年度への 課題整理 ・大掃除	生活(1年) むしさんをそだてよう 理科(4年) 人の体を調べよう (6年) 人と動物のからだ 家庭(6年) 生活時間や買い物の工 夫をしよう	1年*みんなでやろうクリーンさくせ ん 2年*ありがとう教室 3年・1年間をふりかえって 4年・1年間をふりかえって 5年・1年間の健康生活の反省 6年・1年間の健康生活の反省 *大人へのダッシュ	・歯みがき指 導 ・進級進学に 向けた健康 生活及び環 境整備	・代表委員会 ・委員会	1年(4③愛校心) 二ねんせいになっても 2年(2②親切) ぐるぐるまわれ 3年(3②生命尊 重)女の子ときかんし 4年(4③家庭愛) 雪かき 6年(4③不正公 平)愛の日記		(職)学校保健計画 の反省・次年度の計 画・健康診断票整理 (P)活動の反省と 次年度への引継ぎ	

*学級活動は、歯、口、性(エイズ)学校給食の内容を重点とした。

中学校保健計画例 * 保健目標 積極的に健康づくりに取り組む生徒の育成

区分 月	月の重点	学校保健 関連行事	保健管理		保健		教育			総合的な 学習 (健康の分野)	組織活動 (職員保健部会) ☆家庭・地域との 連携	
			対人管理	対物管理	保健学習		保健指導					道徳の時間 (内容)
					保健体育(保健分野)	関連教科	学級活動(*1時間・20分程 度)	個別・日常指導	生徒会活動(保健)			
4	自分の健康 状態を知ろう	・入学式 ・始業式 ・オリエンテー ション ・定期健康診断 ・修学旅行 ・避難訓練	・保健室経営の立案と 実施 ・保健調査の実施 ・定期健康診断の計画 と実施 ・身体測定・視力検査 ・聴力検査・眼科検診 ・心電図検査 ・内科・結核検診 ・職員健康診断の計画 と実施 ・修学旅行の事前指導	・清掃計画の作 成と実施 ・飲料水の検査 [定期] ・机や椅子の整 備 ・施設設備の安 全点検 ・日常点検の励 行	(1・2年前期に 週1時間) [2年]⑧ 「健康と環境」 ○身体对环境に対 する適応能力・至 適範囲	理科—2分野上 ・動物の生活と種 類 [2年]	1年*生き生きした中学校 生活 2年*望ましい生活リズム 3年*楽しい修学旅行 全学年 ・健康への出発 (健康診断の意義と活用) ・保健室の利用法	・健康診断の事 前、事後指導 ・教室環境整備 ・机椅子の適合 ・修学旅行の事 前指導[3年]	・年間活動計画 の立案 ・保健だよりの 発行 ・定期健康診断 の補助役員	・花に寄せて 「星野富弘」 (生命の尊重) [1年]	・オリエンテ ーション [全学年] 1年 「福祉と健康」 2年 「環境と健康」 3年 「生き方と健 康」 ・古都での体 験	・職員保健部会 ・学校保健計画につ いての理解・確認 ・役割分担、保健だ よりの発行 ・4月行事等の評価 と5月行事計画の 確認 *内・歯・耳鼻科校 医との連携
5	生活のリズム をつくろう	・定期健康診断 ・家庭訪問 ・野外活動(2 年) ・遠足(1年) ・救急蘇生講座 ・エンジョイ・ スポーツ ・中間テスト	・定期健康診断の実施 と事後指導 ・尿検査・歯科検診 ・内科・結核検診 ・定期健康相談 ・野外活動の事前指導 ・楽しい保健指導	・飲料水の検査 ・施設設備の安 全点検 ・校舎内外の美 化	[1年]⑩ 「心身の機能の発 達と心の健康」 ○身体機能の発達 [2年] ○空気や飲料水の 衛生管理	社会—公民 ・個人と社会生活 を考えよう [3年]	1年*楽しい遠足 ・友人を作ろう 2年*楽しい野外活動 3年*自己をみつめよう	・環境美化と衛 生活動 ・生活リズム ・野外活動の事 前指導[2年]	・定期健康診断 の補助役員 ・保健だよりの 発行	・仲間として (集団生活の 向上)[1年] ・心の傷 (信頼友情) [2年] ・命は愛と卵か ら (生命の尊重) [3年]	1年 「福祉と健康」 ・テーマの設 定 2年 「環境と健康」 ・野外活動で 環境を考え る 3年 「生き方と健 康」	・職員保健部会 ・健康診断の援助 ・保健統計のまとめ ・連休明けの欠席状 祝の把握 ・5月行事等の評価 と6月行事計画の 確認 ☆救急蘇生講座参加
6	歯の健康を考えよう	・定期健康診断 ・衣替え ・歯の衛生週間 ・薬物乱用防止 教室 ・臨時教育相談 ・期末テスト ・学校開放週間 ・エンジョイ・ スポーツ	・定期健康診断の実施 と事後指導 ・耳鼻科検診 ・歯科検診 ・内科・結核検診 ・衣服の調節指導 ・歯・口の保健指導 ・薬物乱用防止の指導 ・水泳の事前指導	・飲料水の検査 ・施設設備の安 全点検 ・トイレの美化 ・プールの美化	[1年] ○生殖にかかわる 機能の成熟 [2年] ○生活に伴う廃棄 物の衛生管理	理科—2分野上 ・動物の生活と種 類 [2年] 社会—地理 ・環境問題への取 り組み [2年]	1年*梅雨期の過ごし方を 考えよう ・知らなかったでは遅 いタバコの害 2年*梅雨期の過ごし方を 考えよう 3年*夢に向かって (自己実現) 全・日分の歯を守ろう ・衣服の調節を	・歯と口腔の健 康 ・衣服の調節 ・雨天時の過ご し方	・環境美化と衛 生活動 ・保健だよりの 発行	・海がめの浜 (自然愛・畏 敬の念) [2年] ・さわやかな笑 顔 (男女の人格 尊重) [2年]	1年 「福祉と健康」 2年 「環境と健康」 3年 「生き方と健 康」 ・人生の先輩 の話を開く	・職員保健部会 ・保健統計のまとめ ・学校保健委員会の 準備 ・6月行事等の評価 と7・8月行事計 画の確認 ☆学校保健委員会に 参加
7 ・ 8	夏を健康に過 ごそう	・学校保健委員 会 ・思春期教室 ・終業式 ・エンジョイ・ スポーツ	・朝食アンケート ・性に関する指導 ・二次検査(精密)や 治療の勧め ・ホルムアルデヒド検 査	・プールの水質 検査(定期) ・薬品整備 ・冷食室の施設 設備の点検 (定期)	[1年] ○精神機能の発達 と自己形成 [2年]⑨ 「傷害の防止」 ○自然災害や交通 事故などによる傷 害の防止	社会—公民 ・福祉社会 [3年]	1年*自分を知ら う 2年*正しく知れば怖くな い(エイズ・性感染 症) 3年*悔いを残さない中学 校生活のために 全・治療は夏休みに ・炎暑への対応	・学校保健委員 会への参加 ・夏休み中の過 ごし方 ・治療の勧め	・環境美化と衛 生活動 ・保健だよりの 発行	・おぼれかけた 兄弟(生命の 尊重) [1年] ・M君とNさん の場合(男女 の人格尊重) [3年]	1年 「福祉と健康」 2年 「環境と健康」 3年 「生き方と健 康」 ・1日体験入 学	・職員保健部会 ・学校保健委員会の 開催 ・保健統計のまとめ ・7・8月行事等 の評価と9月行事計 画の確認 ☆地区別懇談会の開 催

区分 月	月の重点	学校保健 関連行事	保 健 管 理		保 健		教 育			道徳の時間 (内容)	総合的な 学 習 (健康の分野)	組織活動 (職員保健部会) ☆家庭・地域との 連携
			対人管理	対物管理	保 健 学 習		保 健 指 導					
					保健体育(保健分野)	関連教科	学級活動(*1時間・20分程度)	個別・日常指導	生徒会活動会 (保健)			
9	けがの防止に 努めよう	・始業式 ・身体測定 ・体育大会 ・避難訓練 ・エンジョイ・ スポーツ ・親子奉仕作業 (1年)	・夏休み中の健康調査 ・身体測定の実施と事 後指導 ・体育大会を伴う健康 指導	・大掃除 ・運動場の整備 ・机や椅子の調 整 ・カーテンの取 り付け ・給食室検査	[2年] ○応急手当	理科-1分野 ・地球環境問題 [3年] 家庭-家族と家庭 生活 ・子どもの成長 [3年]	1年・体を動かすこと 2年*2学期の出発 3年・健康生活の見直し 全学年 ・けがや病気の予防 (体育大会と健康)	・机や椅子の調 整 ・運動と休養 ・けがの予防	・環境美化と衛 生活動 ・保健だよりの 発行 ・体育大会にお ける救急体制	・鈴の鳴る道 (強い意志) [2年]	1年 「福祉と健康」 ・調べ学習 2年 「環境と健康」 3年 「生き方と健 康」	・職員保健部会 ・学期始めの欠席状 況の把握 ・9月行事等の評価 と10月行事計画の 確認 ☆体育大会への協力
10	目の健康を	・中間テスト ・文化発表会 ・学校開放週間 ・授業参観	・学習時の姿勢指導	・飲料水の検査 ・施設設備の安 全点検	[3年](後期週1 時間)◎ 「健康な生活と疾 病の予防」 ○健康の成り立ち と疾病の発生要 因	理科-2分野上 ・動物の生活と 種類 [2年] 社会-公民 ・人権を考える [3年]	1年・生活の見直し 2年・カッコいいだけでは ない (姿勢と健康) 3年・明るい学級づくり 全学年 ・目の健康 ・自分で守る健康(体験学 習を通して)	・姿勢指導 ・目の健康	・保健だよりの 発行 ・前期活動反省	・神様の贈り物 (人間愛・生き る喜び) ・グループノート (男女の人格尊 重)[1年] ・先輩の無言の教 え(人間愛・ 生きる喜び) [2年] ・学校に行かなけ れば幸せじゃ ない(生命の 尊重)[3年]	1年 「福祉と健康」 2年 「環境と健康」 [全学年] ・福祉体験や 校外学習の 計画を立て る	・職員保健部会 ・保健統計のまとめ ・10月行事等の ☆文化発表会への協 力
11	心と体を大切 にしよう	・体験学習 ・期末テスト ・エンジョイ スポーツ	・食生活アンケート ・体験学習時の健康	・飲料水の検査 ・施設設備の安 全点検	[3年] ○生活行動・生 活習慣と健康	理科-2分野上 ・動物の生活と 種類 [2年] ・家庭-生活の自立 と衣食住 ・気持ちよく住む [2年]	1年・異性の友だち 2年・望ましい人間関係 3年・青春に向かって(性 に関する悩み) 全学年 ・朝食の大切さ	・心と体の健康 ・生活習慣病	・後期活動計画 ・保健だよりの 発行 ・学校保健委員 会の準備	・くんちゃんや すめ (生命の尊重) [2年]	1年 「福祉と健康」 ・福祉体験 2年 「環境と健康」 ・校外活動 3年 「生き方と健 康」 ・校外活動	・職員保健部会 ・保健統計のまとめ ・11月行事等の評価 と12月行事計画の 確認 ・学校保健委員会の 準備 (小中打ち合わせ)
12	食生活を考え よう	・小中合同学校 保健委員会 ・学校保健週間 ・三者面談 ・終業式 ・エンジョイ・ スポーツ	・食生活と健康 ・冬休み中の健康指導	・大掃除 ・飲料水の検査 ・給食室の施設 設備の点検 (定期)	[3年] ○喫煙、飲酒、薬 物乱用と健康	理科-2分野上 ・動物の生活と種 類 [2年] 2分野下 ・自然と人間 [3年] 社会-歴史 ・日本がアジアで 行った戦争 [2年]	全学年 * 大切な朝食 ・冬休みの健康 ・エイズについて知ろう ・生活習慣病は毎日の積み 重ね	・食生活の指導 ・かぜの予防	・学校保健委員 会への参加 ・保健だよりの 発行	・明日への出発 (節度ある生 活態度) [3年]	1年 「福祉と健康」 2年 「環境と健康」 3年 「生き方と健 康」 [全学年] ・福祉体験や 校外学習の まとめと発 表を行う	・職員保健部会 ・学校保健委員会の 開催 ・保健統計のまとめ ・12月行事等の評価 と1月行事計画の 確認 ☆学校保健委員会に 参加

区分 月	月の重点	学校保健 関連行事	保 健 管 理		保 健 教 育							道徳の時間 (内容)	総合的な 学 習 (健康の分野)	組織活動 (職員保健部会) ☆家庭・地域との 連携
			対人管理	対物管理	保 健 学 習		保 健 指 導							
					保健体育(保健分野)	関連教科	学級活動(*1時間・20分程度)	個別・日常指導	生徒会活動会(保健)					
										保健体育(保健分野)	関連教科			
1	かぜを予防しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・身体測定 ・拡大学校保健委員会 ・3年生保護者会・授業参観 ・教育課程の評価 ・エンジョイ・スポーツ ・給食週間 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休み中の健康調査 ・身体測定の実施と事後指導 ・食生活と健康 ・インフルエンザの予防 ・進路に向けての健康指導 ・健康分野の評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・机や椅子の調整 ・換気・照度の検査(定期) ・飲料水検査 	[3年] ○感染症の予防	社会 —公民 ・地球市民として生きる [3年]	1年*新しい年に ・朝食をたいせつに 2年*自己を大切にすること 3年*受験に備えての健康生活 全学年 ・かぜ、インフルエンザの予防	<ul style="list-style-type: none"> ・保温と換気 ・うがいの励行 ・机や椅子の調整 ・インフルエンザの予防 	<ul style="list-style-type: none"> ・拡大学校保健委員会への参加 ・保健だよりの発行 ・換気、うがい ・手洗いの呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの利己主義(向上心・個性の伸長)[1年] ・星への手紙(生命の尊重)[2年] ・天井が明るい(生命の尊重)[3年] 	1年 「福祉と健康」 ・現代の課題 2年 「環境と健康」 ・地境の課題 3年 「生き方と健康」 ・将来の夢	<ul style="list-style-type: none"> ・職員保健部会 ・拡大学校保健委員会の開催 ・インフルエンザ発生状況の把握 ・保健統計のまとめ1月行事等の評価と2月行事計画の確認 		
2	心の健康を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観(1・2年) ・学校開放週間 ・学年末テスト ・エンジョイ・スポーツ 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路に向けての健康指導 ・インフルエンザの予防 ・心の健康アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲料水の検査 ・施設設備の安全点検 	[3年] ○個人の健康と集団の健康		1年*青春!(私の悩み) 2年*すばらしい人生(ストレス解消) 3年*受験期の健康(睡眠、栄養、運動の調和)	<ul style="list-style-type: none"> ・心の健康 ・インフルエンザの予防 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりの発行 ・換気、うがい ・手洗いの呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・前を向いて進むために(強い意志)[2年] 	1年 「福祉と健康」 2年 「環境と健康」 3年 「生き方と健康」	<ul style="list-style-type: none"> ・職員保健部会 ・インフルエンザ発生状況の把握 ・保健統計のまとめ ・2月行事等の評価と3月行事計画の確認 		
3	健康生活を振り返ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生を送る会 ・卒業式 ・終了式 ・エンジョイ・スポーツ 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康生活の反省 ・卒業生への健康メッセージ作成 ・春休みの健康指導 ・次年度の保健計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・大掃除 ・給食室の施設設備の点検(定期) 			1年・1年間の健康生活を振り返って 2年*「10年後の私」実現へ ・1年間の健康生活を振り返って 3年 ・旅立ちのとき(将来への健康生活)	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の健康生活の反省 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりの発行 ・1年間の反省 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクープ写真(生命の尊重)[1年] ・ネパールール(人間愛・生きる喜び)[2年] 	1年 「福祉と健康」 2年 「環境と健康」 3年 「生き方と健康」 ・将来の生活	<ul style="list-style-type: none"> ・職員保健部会 ・保健統計のまとめ ・本年度の反省及び次年度の計画 		

区分 月	月の重点	学校保健 関連行事	保健管理		保健		教 育					総合的な 学習 (健康の分野)	組織活動
			対人管理	対物管理	保健学習		保健指導						
					科目 保健	関連教科	ホームルーム活動 (単位時間)	学年	ホームルーム活動 (短時間)	学年	生徒会活動(保健委員 会)		
4	健康診断を受け、健康の状況を把握しよう 学習環境を整備しよう	定期健康診断	・保健関係公簿の提出 ・定期健康診断の計画と実施 ・健康状態把握 ・保健調査票の整理 ・健康相談 ・健康観察 ・職員健康相談	・衛生備品の整備充実 ・保健室の整備 ・環境検査 ・施設等の点検 ・大掃除 [定期] ・机・椅子の整備	1、2年共に年間を通じて(週1時間×35) <1年>「現代社会と健康」 1 私たちの健康のすがた <2年>「生涯を通じる健康」 1 思春期と健康	(生物I B・3年)目、耳のつくりとはたらき(食物・2年選択)食品の取り扱い方 手洗い・みじたく (保育・3年選択)思春期の健康	・健康診断とその活用 ・望ましい生活リズム ・卒業後の健康	1 1 自分の健康を計ろう 2 2 3 3 ・体に合った机・椅子 ・汚れた教室 ・規則正しい生活 ・生体リズム① ・生体リズム②	1 1 1 1 2 2 2 2 3 3 3 3	・保健委員会 ・年間活動計画・役割分担 ・定期健康診断の補助役員 ・保健だよりの発行	1年・2年 「オリエンテーション」 1年 「身体の健康」 2年 「健康と社会」	・職員保健部会 ・学校保健計画についての理解・確認 ・役割分担について ・保健だより作成の援助 ・4月行事等の評価と5月行事計画の確認	
5	疾病の予防と早期発見に努めよう	定期健康診断 球技大会	・定期健康診断の実施と治療勧告 ・健康状態把握 ・保健調査票の整理 ・独立行政法人日本スポーツ振興センター加入手続き ・健康相談 ・健康観察 ・職員健康相談	・水質検査 ・施設等の点検 [定期] 水道水の検査	<1年> 2 健康のとらえかた 3 さまざまな保健活動や対策 <2年> 2 性意識と性行動の選択	(現社・1・2年 共通) 1 福祉社会の充実 2 少子高齢社会(生物I B・3年)神経のつくりとはたらき(生物II・3年)血液凝固 (保育・3年選択)生命の誕生と母体の健康	・生き生きとした高校生活 ・喫煙がもたらすもの ・増える心臓の病気	1 1 2 2 3 3 3 3 全 全	・友人をつくろう ・五月病 ・揺れる17歳 ・学習環境 ・質のよい睡眠とは ・夜食に注意	1 1 1 1 2 2 3 3 3 3 全 全	・保健委員会 ・定期健康診断の補助役員 ・環境美化と衛生活動 ・球技体会事故防止活動 ・保健だよりの発行	1年 「身体の健康」 2年 「健康と社会」	・職員保健部会 ・定期健康診断実施の援助 ・保健統計まとめ ・保健だより作成の援助 ・球技大会援助 ・5月行事等の評価と6月行事計画の確認
6	疾病治療の継続と梅雨対策をしよう	定期健康診断	・定期健康診断の実施と治療勧告 ・保健調査票の整理 ・健康相談 ・健康観察 ・職員健康相談	・水質検査 ・雨天時の施設等の点検 [定期] ・水飲み場等、便所、衛生害虫等	<1年> 4 生活習慣病と日常の生活行動 5 喫煙と健康 <2年> 3 結婚生活と健康	<現社・1、2年 共通> 3 青年期とは 4 私たちの生きがい(生物IB・3年)脳をつくりとはたらき筋組織のつくりとはたらき(生物II・3年)免疫(家庭総合・1年食物・3年選択)食中毒・食生活の衛生と安全	・忍びよる歯周病の恐怖 ・健康相談とその活用 ・生活習慣病の若年化	1 1 2 2 3 3 3 3 全 全	・清潔な服装 ・咀嚼の大切さ ・むし歯が原因の病気 ・保健室への訪問 ・むし歯に自然治癒はない ・相談も自己解決の手だて ・食中毒に注意	1 1 1 1 2 2 3 3 3 3 全 全	・定期健康診断の補助役員 ・環境美化と衛生活動 ・保健だよりの発行	1年 「心の健康」 2年 「環境と健康」	・職員保健部会 ・薬物乱用防止教育研究会 ・保健統計まとめ ・保健だより作成の援助 ・6月行事等の評価と7・8月行事計画の確認
7 ・ 8	自主的な健康管理に努めよう	避難訓練	・疾病治療の継続 ・保健調査票の整理 ・規律ある生活 ・健康相談 ・健康観察 ・職員健康相談	・大掃除 [定期] ・教室等の空気 ・排水等の施設点検	<1年> 6 飲酒と健康 7 薬物乱用と健康 <2年> 4 妊娠・出産と健康	(生物II・3年)HIVウイルス	・男女交際を考える ・性情報の正しい選択 ・自分を大切にすること	1 1 2 2 3 3 3 3	・治療は夏休みに ・炎暑への対応 ・慢性病を治そう ・夢への実現 ・食事の大切さ ・悔いを残さない高校生活のために	1 1 1 1 2 2 2 2 3 3 3 3	・環境美化と衛生活動 ・文化祭参加にむけた準備 ・ボランティア活動 ・保健だよりの発行	1年 「心の健康」 2年 「環境と健康」	・職員保健部会 ・エイズ教育研究会 ・保健だより作成の援助 ・7・9月行事等の評価と9月行事計画の確認

区分 月	月の重点	学校保健 関連行事	保 健 管 理		保 健 学 習		保 健 指 導					総合的な 学 習 (健康の分野)	組織活動
			対人管理	対物管理	科目 保健	関連教科	ホームルーム活動 (単位時間)	学年	ホームルーム活動 (短時間)	生徒会活動(保健委員 会)			
											ホームルーム活動 (単位時間)		
9	生活習慣を確 立しよう	施設等の点検	・生活習慣の確立 ・治療状況調査 ・健康相談 ・健康観察 ・職員健康相談	・校内環境整備 ・水質検査 ・衛生備品の整 備充実 ・衛生備品の整 備充実 ・はかりの定期 検査(2年に 1回)	<1年> 8 医薬品と健康 9 感染症とその 予防 <2年> 5 家族計画と人 工妊娠中絶	(現社・1、2年 共通) 5 こんにちの労 働問題 6 労働環境の整 備 (生物IB・3年) 内部環境として の体液 ホルモンによる 調節 自律神経系によ る調節	・薬物の耐性 ・身近にひそむ感染 症 ・いのちと向き合 うくらし	1 2 3	・夏バテの回復 ・身の回りの危険 ・体の調子をととの える ・いざという時の救急 急法 ・こころの風邪 ・ポジティブシンキ ング ・避難と人命救助	1 1 2 2 3 3 全	・保健委員会 ・環境美化と衛生活 動 ・文化祭参加にむけ ての準備 ・保健だよりの発行	1年 「運動と健康」 2年 「自己判断能力と健 康」	・職員保健部会 ・施設等の点検の再 検査 ・保健だより作成の 援助 ・9月行事等の評価 と10月行事計画の 確認 ・学校保健委員会の 準備
10	目の健康に留 意しよう	体育祭 学校保健委員会	・健康の増進 ・健康相談 ・健康観察 ・職員健康診断	・水質検査 ・施設等の点検 [定期] ・照度関係及び 騒音、黒板等 の検査 ・騒音、黒板等 の検査	<1年> 10 エイズとその 予防 11 健康にかかわ る意志決定・行 動選択 <2年> 6 加齢と健康	(現社・1、2年 共通) 7 公害防止と環 境保全 (生物IB・3年) 代謝 嫌気呼吸・吸気 呼吸 (家庭総合・1年) 食品の取り扱い方 (家庭看護福祉・ 3年選択) 家庭でできる応 急手当	・応急手当の方法と 実践	1 2 3	・体をうごかすこと ・目の機能 ・目と緑 ・自分を知ろう ・ホームドクターは 誰？ ・自分が誕生したと き	1 1 2 2 3 3	・体育祭事故防止活 動 ・環境美化と衛生活 動 ・文化祭参加にむけ ての準備 ・保健だよりの発行	1年 「運動と健康」 2年 「自己判断能力と健 康」	・職員保健部会 ・体育祭援助 ・保健だより作成の 援助 ・10月行事等の評価 と11月行事計画の 確認 ・学校保健委員会の 開催
11	健康増進と維 持管理に努め よう	文化祭 腸内細菌検査 職員健康診断	・健康の増進 ・保健調査票の整理 ・文化祭の保健衛生調 査 ・腸内細菌検査の実施 ・健康相談 ・健康観察 ・職員健康診断	・水質検査 ・大掃除 ・施設等の点検	<1年> 12 意志決定・行 動選択に必要な もの 13 欲求と適応機制 <2年> 7 高齢者のための 社会的なとりくみ	(家庭総合・1年) 母体の健康管理 生命の誕生 (社会福祉基礎 2年選択) 老人及び障害児 の疾病、障害に ついて	・食品衛生と食中毒 ・食品取り扱い団体 のための食品規定 について	1 2 3	・感染予防の基本は 手洗い・うがい ・換気の意義とは ・暖房の長所・短所 ・タバコも薬物 ・インフルエンザ対策 ・体内時計と生活時 間を合わせよう	1 1 2 3	・保健委員会 ・環境美化と衛生活 動 ・文化祭保健衛生活 動 ・腸内細菌検査 ・文化祭発表 ・保健だよりの発行	1年 「人権と健康」 2年 「老いと健康」	・職員保健部会 ・文化祭保健衛生 ・保健だより作成の 援助 ・学校運営協議会の 準備 ・1年行事等の評価 と12月行事計画の 確認
12	冬の健康管理 をしっかりと しよう	保健講話 避難・消火訓練	・健康の維持管理 ・保健講話の実施 ・健康相談 ・健康管理 ・職員健康相談	・暖房設備等の 点検 ・大掃除	<1年> 14 心身の相関と ストレス 15 ストレスへの 対処 <2年> 8 保健制度と保 健サービスの活 用	(現社・1、2年 共通) 8 豊かに生きる 権利(社会権 環境権) (生物IB・3年) 地球環境とその 保全	・エイズと戦う人たち ・エイズと人権	1 2 3	・薬物にはどんなも のがあるの？ ・エイズとたたかう人達 ・薬物依存の恐怖 ・エイズと人権 ・日本での薬物を取 りまく環境 ・わたしたちが主 役・エイズ問題 ・インフルエンザ対策	1 1 2 2 3 全	・教室の温度・湿 度・二酸化炭素測 定 ・保健講話 ・保健だよりの発行	1年 「人権と健康」 2年 「老いと健康」	・職員保健部会 ・保健講話の実施 ・保健だより作成の 援助 ・学校運営協議会の 開催 ・12月行事等の評価 と1月行事計画の 確認

区分 月	月の重点	学校保健 関連行事	保健管理		保健教育								総合的な 学習 (健康の分野)	組織活動
			対人管理	対物管理	保健学習		保健指導							
					科目	保健	関連教科	ホームルーム活動 (単位時間)	学年	ホームルーム活動 (短時間)	学年	生徒会活動(保健委員 会)		
1	寒さへの体力 増強をはかろ う	マラソン大会 臨時健康診断	・生活習慣の確立 ・健康調査 ・マラソン大会事前健 康調査 ・臨時健康診断の実施 健康相談 ・健康観察 ・職員健康相談	・水質検査 ・暖房設備等の 点検 [定期] ・教室等の空気 検査	<1年> 16 自己実現 17 交通事故の現 状と要因 18 交通社会にお ける運転者の資 質と責任 <2年> 9 医療制度と医 療費	(生物IB・3年) 地域環境とその 保全	・ストレス対処法 ・家族の健康づくり	1 2	・肩こり改善法 ・生活習慣病の予防 は毎日の積み重ね ・マラソン大会前後 の健康管理	1 2 全	・保健委員会 ・環境美化と衛生活 動 ・マラソン大会事故 防止 ・保健だよりの発行	1年 「現代病と社会」 2年 「ともに生きる」	・職員保健部会 ・施設等の点検の再 検査 ・マラソン大会援助 ・保健だより作成の 援助 ・1月行事等の評価 と2月行事計画の 確認	
2	心身の健康生 活の実践に努 めよう	修学旅行 臨時健康診断	・修学旅行健康調査 ・臨時健康診断の実施 ・健康相談 ・健康観察 ・年度末結果処理 ・職員健康相談	・暖房設備の点 検 ・水質検査 ・大掃除	<1年> 19 安全な交通社 会づくり 20 応急手当の意 義とその基本 21 心肺蘇生法 <2年> 10 医療機関と医 療サービスの活 用	(生物IB・2年) 性と遺伝	・栄養・運動・睡眠 の調和 ・いのちをなくすと いうこと	1 2	・サプリメントは食 事のかわりにはな らない ・生涯スポーツ ・清涼飲料水より牛 乳 ・修学旅行保健 指導	1 1 2 2	・保健委員会 ・環境美化と衛生活 動 ・修学旅行 ・保健だよりの発行	1年 「現代病と社会」 2年 「ともに生きる」	・職員保健部会 ・修学旅行中の援助 ・保健だより作成の 援助 ・年間統計の援助 ・2月行事等の評価 と3月行事計画の 確認	
3	1年間の健康 生活をふり返 り反省しよう	学校保健計画の 評価と反省 新年度の計画	・健康の維持管理 ・諸表簿等の整理 ・職員健康相談 ・新年度健康診断準備	・水質検査 ・清掃用具等の 点検・整備 ・大掃除	<1年> 22 日常的な応急 手当	(生物IB・2年) 変異	・入学許可候補者保 健指導 ・健康生活の自己評 価 ・健康生活の自己評 価	新 1 2	・教室を清潔にして 次の学年に ・教室を清潔にして 次の学年に	1 2	・保健委員会 ・健康生活のまとめ と次年度の計画 ・環境美化と衛生活 動 ・保健だよりの発行	1年 「1年間のまとめ」 2年 「1年間のまとめ」	・職員保健部会 ・3月行事等の評価 ・年間統計の援助 ・年間反省と次年度 の方針 ・保健だより作成の 援助	

3 保健教育

保健教育は、教育活動全体を通じて、健康に関する一般的で基本的な概念を習得させ、それらを日常生活に適用し、環境の変化に即応して、的確な判断のもとに健康な生活を創造できるようにすることをめざして行われるものである。

保健教育は、保健指導と保健学習に分けられるが、二者の特質を次の表のようにまとめることができる。

	保健学習	保健指導
目標・性格	健康を保持増進するための基礎的・基本的事項の理解を通して、思考力、判断力、意志決定や行動選択等の実践力の育成を図る科学的原理・原則の理解を通して実践力を図る	日常の生活における健康問題について自己決定し、対処できる能力や態度の育成、習慣化を図る
内容	学習指導要領に示された教科としての一般的で基本的な心身の健康に関する内容	各学校の児童生徒が当面している、または近い将来に当面するであろう健康に関する内容
指導の機会	体育科保健領域（小学校）保健体育科保健領域（中学校）科目保健（高等学校）及び関連教科	特別活動の学級活動、ホームルーム活動を中心に教育活動全体（学校行事、日常、児童生徒会活動、個別等）
進め方	年間指導計画に基づき、実践的な理解が図られるよう問題解決的、体験的な学習を展開する	実態に応じた時間数を定め、計画的、継続的に実践意欲を誘発しながら行う（各学校で事項の実態を踏まえた保健指導計画を作成）
対象	集団（学級、学年）	集団（学級、学年、全校）または個人
指導者	学級担任（小学校）、保健体育科（中、高等学校）教諭、教諭に兼職発令の養護教諭など	学級担任、養護教諭、学校栄養職員等

特別活動としての保健指導、教科での保健学習、あるいは総合的な学習の時間における健康に関する課題の学習の特質を理解した上で効果的な学習が行えるよう計画的に指導する必要がある。

(1) 教科「保健」

「体育」「保健体育」における「保健」の内容等について

校種 教科	目標 授業時数	内容構成及び関連図
小学校 体育(保健領域)	心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。 [第3・4学年] 2年間で8単位 時間程度 [第5・6学年] 2年間で16単位 時間程度	<p>[第4学年]</p> <p>(2) 育ちゆく体とわたし ア 体の発育・発達 イ 思春期の体の変化 ウ 体をより良く発育・発達させるための生活</p> <p>[第3学年]</p> <p>(1) 毎日の生活と健康 ア 健康な生活とわたし イ 1日の生活の仕方 ウ 身のまわりの環境</p> <p>[第5学年]</p> <p>(1) けがの防止 ア 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがとその防止 イ けがの手当</p> <p>[第5学年]</p> <p>(2) 心の健康 ア 心の発達 イ 心と体の相互の影響 ウ 不安や悩みへの対処</p> <p>[第6学年]</p> <p>(3) 病気の予防 ア 病気の起こり方 イ 病原体がもとになって起こる病気の予防 ウ 生活行動がかかわって起こる病気の予防 エ 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 オ 地域の様々な健康活動の取り組み</p>
中学校 保健体育(保健分野)	心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。 48単位 時間程度	<p>[第1学年]</p> <p>(1) 心身の機能の発達と心の健康 ア 身体機能の発達 イ 生殖にかかわる機能の成熟 ウ 精神機能の発達と自己形成 エ 欲求やストレスへの対処と心の健康</p> <p>[第2学年]</p> <p>(2) 健康と環境 ア 身体的环境に対する適応能力・至適範囲 イ 飲料水や空気の衛生的管理 ウ 生活に伴う廃棄物の衛生的管理</p> <p>(3) 傷害の防止 ア 交通事故や自然災害などによる障害の発生原因 イ 交通事故などによる障害の防止 ウ 自然災害による障害の防止 エ 応急手当</p> <p>(4) 健康な生活と疾病の予防 ア 健康の成り立ちと疾病の発生の発生要因 イ 生活行動・生活習慣と健康 ウ 喫煙・飲酒、薬物乱用と健康 エ 感染症の予防 オ 健康・医療機関や医薬品の有効利用 カ 個人の健康を守る社会の取組</p>
高等学校 保健体育(科目保健)	心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む。態度を育てる。 (入学年次及びその次の年次)	<p>[入学年次及び次年次]</p> <p>(1) 現代社会と健康 ア 健康の考え方 イ 健康の保持増進と疾病の予防 ウ 精神の健康 エ 交通安全 オ 応急手当</p> <p>(2) 生涯を通じる健康 ア 生涯の各段階における健康 イ 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 ウ 様々な保健活動や対策</p> <p>(3) 社会生活と健康 ア 環境と健康 イ 環境と食品の健康 ウ 労働と健康</p>

学習指導要領「保健領域」「保健分野」「科目保健」に関わる目標及びその内容

【小学校】体育科「保健領域」

第3・4学年

[目標]健康な生活及び体の発育・発達について理解できるようにし、身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。

内 容	内容の取扱い等
<p>(1) 健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解できるようにする。</p> <p>ア 心や体の調子がよいなどの健康状態は、主体の要因や周囲の環境の要因がかかわっていること。</p> <p>イ 毎日を健康に過ごすには、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、また、体の清潔を保つことなどが必要であること。</p> <p>ウ 毎日を健康に過ごすには、明るさの調節、換気などの生活環境を整えることなどが必要であること。</p> <p>(2) 体の発育・発達について理解できるようにする。</p> <p>ア 体は、年齢に伴って変化すること。また、体の発育・発達には個人差があること。</p> <p>イ 体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わったり、初経、精通などが起こったりすること。また、異性への関心が芽生えること</p> <p>ウ 体をよりよく発育・発達させるためには、調和のとれた食事、適切な運動、休養及び睡眠が必要であること。</p>	<p>(1) を第3学年、(2) を第4学年で指導するものとする。</p> <p>(1) については、学校でも、健康診断や学校給食など様々な活動が行われていることについて触れるものとする。</p> <p>(2) については、自分と他の人では発育・発達などに違いがあることに気付き、それらを肯定的に受け止めることが大切であることについて触れるものとする。</p>

第5・6学年

[目標]心の健康、けがの防止及び病気の予防について理解できるようにし、健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。

内 容	内容の取扱い等
<p>(1) 心の発達及び不安、悩みへの対処について理解できるようにする。</p> <p>ア 心は、いろいろな生活体験を通して、年齢に伴って発達すること。</p> <p>イ 心と体は、相互に影響し合うこと。</p> <p>ウ 不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があること。</p> <p>(2) けがの防止について理解するとともに、けがの簡単な手当てができるようにする。</p> <p>ア 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。</p> <p>イ けがの簡単な手当ては、速やかに行う必要があること。</p> <p>(3) 病気の予防について理解できるようにする。</p> <p>ア 病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境がかかわりあって起こること。</p> <p>イ 病原体が主な要因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であること。</p> <p>ウ 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身につける必要があること。</p> <p>エ 禁煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。</p> <p>オ 地域では、保健にかかわる様々な活動が行われていること。</p>	<p>(1) 及び(2) を第5学年で、(3) を第6学年で指導するものとする。</p> <p>「A 体づくり運動」の(1)の「ア 体ほぐしの運動」と「G 保健」①のウについては、相互の関連を図って指導するものとする。</p> <p>(3)のエの薬物については、有機溶剤の心身への影響を中心に取り扱うものとする。また、覚せい剤等についても触れるものとする。</p>

授業時数： 第3学年及び第4学年では、2学年で8単位時間程度、第5学年及び第6学年では、2学年間で16単位時間程度とし、効果的な学習が行われるよう適切な時期に、ある程度まとまった時間を配当すること。

【中学校】保健体育「保健分野」

[目標] 個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

	内 容	内容の取扱い等
第1学年	<p>(1) 心身の機能の発達と心の健康について理解できるようにする。</p> <p>ア 身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、様々な機能が発達する時期があること。また、発育・発達の時期やその程度には、個人差があること。</p> <p>イ 思春期には、内分泌の働きによって生殖にかかわる機能が成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となること。</p> <p>ウ 知的機能、情意機能、社会性などの精神機能は、生活経験などの影響を受けて発達すること。また、思春期においては、自己の認識が深まり、自己形成がなされること。</p> <p>エ 精神と身体は、相互に影響を与え、かかわっていること。 欲求やストレスには心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があること。</p>	<p>(1) 内容の(1)は第1学年内容の(2)及び(3)は第2学年、内容の(4)は第3学年で取り扱うものとする</p> <p>(2) 内容の(1)のアについては、呼吸器、循環器を中に取り扱うものとする。</p> <p>(3) 内容の(1)のイについては、妊娠や出産が可能となるような成熟が始まるという観点から、受精・妊娠までを取り扱うものとし、妊娠の経過は取り扱わないものとする。また、身体の機能の成熟とともに、性衝動が生じたり、異性への関心が高まることなどから、異性の尊重、情報の適切な対応や行動の選択が必要となることについて取り扱うものとする。</p> <p>(4) 内容の(1)のエについては、体育分野の内容「A体づくり運動」の(1)のアの指導との関連を図って指導するものとする。</p>
第2学年	<p>(2) 健康と環境について理解できるようにする。</p> <p>ア 身体には、環境に対してある程度まで適応能力があること。 身体の適応能力を超えた環境は、健康に影響を及ぼすことがあること。また、快適で能率のよい生活を送るための温度、湿度や明るさには一定の範囲があること。</p> <p>イ 飲料水や空気は、健康と密接なかわりがあること。また、飲料水や空気を衛生的に保つには、基準に適合するよう管理する必要があること。</p> <p>ウ 人間の生活によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないよう衛生的に処理する必要があること。</p> <p>(3) 傷害の防止について理解を深めることができるようにする。</p> <p>ア 交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などがかわって発生すること。</p> <p>イ 交通事故などによる傷害の多くは安全な行動、環境の改善によって防止できること。</p> <p>ウ 自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できること。</p> <p>エ 応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができること。また、応急手当には心肺蘇生法等があること</p>	<p>(5) 内容の(2)については、地域の実態に即して公害と健康との関係を取り扱うことも配慮するものとする。また、生態系については、取り扱わないものとする。</p> <p>(6) 内容の(3)のエについては、包帯法、止血法など傷害時の応急手当も取り扱い、実習を行うものとする。また、効果的な指導を行うため、水泳など体育分野の内容との関連を図るものとする。</p> <p>(7) 内容の(4)のイについては、食</p>

- (4) 健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。
- ア 健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。
また、疾病は、主体の要因と環境の要因がかかわりあって発生すること。
 - イ 健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があること。また、食事の量や質の偏り、運動不足、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れは、生活習慣病などの要因となること。
 - ウ 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること。また、これらの行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要があること。
 - エ 感染症は、病原体が主な原因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。
 - オ 健康の保持増進や疾病の予防には、保健・医療機関を有効に利用することがあること。また、医薬品は正しく使用すること。
 - カ 個人の健康は、健康を保持増進するための社会の取組と密接なかわりがあること。

- 育の観点も踏まえつつ健康的な生活習慣の形成に結びつく用に配慮するとともに、必要に応じて、コンピューターなどの情報機器の使用と健康とのかかわりについて取り扱うことも配慮するものとする。
- (8) 内容の(4)のウについては、心身への急性影響および依存症について取り扱うこと。また薬物は、覚せい剤や大麻等を取り扱うものとする。
- (9) 内容の(4)のエについては、後天性免疫不全症候群（エイズ）及び性感染症についても取り扱うものとする。
- (10) 保健分野の指導に際しては、知識を活用した学習活動を取り入れるなどの指導方法の工夫を行うものとする。

【高等学校】保健体育「科目保健」

【目標】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質と能力を育てる。

内 容	内容等の取り扱い
<p>(1) 現代社会と健康 わが国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。</p> <p>ア 健康の考え方 健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきている。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。 健康の保持増進には、健康に関する個人の適切な意志決定や行動選択及び環境づくりがかかわること。</p> <p>イ 健康の保持増進と疾病の予防 健康を保持増進と生活習慣病の予防には、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践する必要があること。 喫煙、飲酒は、生活習慣病の要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策画筆用であること。 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いが見られること。その予防には、個人的及び社会的な対策を行う必要があること。</p> <p>ウ 精神の健康 人間の欲求と適応規制には、様々な種類があること。精神と身体には密接な関連があること。また、精神の健康を保持増進するには、欲求やストレスに適切に対処するとともに、自己実現を図るよう努力していくことが重要であること。</p> <p>エ 交通安全 交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運動や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備などがかわること。また、交通事項には責任や補償問題が生じること。</p> <p>オ 応急手当 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、心肺蘇生法等の応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があること。</p>	<p>(1) 内容の(1)のイ及び(3)のイについては、食育の観点を踏まえつつ、健康的な生活習慣の形成に結び付くよう配慮するものとする。</p> <p>(2) 内容の(1)のイの喫煙、飲酒、薬物乱用については、疾病との関連、社会への影響などについて総合的に取り扱い、薬物については、麻薬、覚せい剤、大麻等を扱うものとする。</p> <p>(3) 内容の(1)のウについては、大脳の機能、神経系及び内分泌系の機能について必要に応じ関連付けて扱う程度とする。また、「体育」における体ほぐしの運動との関連を図るよう配慮するものとする。</p> <p>(4) 内容の(1)のエについては二輪車及び自動車を中心に取り上げるものとする。また、自然災害などによる傷害の防止についても、必要に応じて関連付けて扱うよう配慮するものとする。</p> <p>(5) 内容の(1)のオについては、実習を行うものとし、呼吸器系及び循環器系の機能については、必要に応じ関連付けて扱う程度とする。また、効果的な指導を行うため、「体育」「D水泳」などとの関連を図るよう配慮するものとする。</p>
<p>(2) 生涯を通じる健康 生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。</p> <p>ア 生涯の各段階における健康 生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかわっていること。</p> <p>イ 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 生涯を通じて健康を保持増進するためには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であること。 また、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効である。</p> <p>ウ 様々な保健活動や対策 我国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や対策が行われていること</p>	<p>(6) 内容の(2)のアについては、思春期と健康、結婚生活と健康及び加齢と健康を取り扱うものとする。 また、生殖に関する機能については、必要に応じ関連付けて扱う程度とする。責任感を涵養することや異性を尊重することが必要であること、及び性に関する情報等への対処についても扱うよう配慮するものとする。</p>
<p>(3) 社会生活と健康 社会生活における健康の保持増進には、環境や食品、労働などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康にかかわる活動や対策が重要であることについて理解できるようにする。</p> <p>ア 環境と健康 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。</p> <p>イ 環境と食品の保健 環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され、それに基づき行われていること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていること。</p> <p>ウ 労働と健康 労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があること。</p>	<p>(7) 内容の(3)のアについては、廃棄物の処理と健康についても触れるものとする。</p> <p>(8) 指導に際しては、知識を活用する学習活動を取り入れるなどの指導方法の工夫を行うものとする。</p>

(2) 保健以外の教科

どの教科の中にも目標や内容に健康に関わるものが含まれている。保健安全指導の指導計画を立てる際には、次の内容についても関連づけて考えたい。

	教科	内容	健康にかかわる主な内容
小学校	国語	例えば健康に関連した教材に次のようなものがある。 1年：「サラダでげんき」（東京書籍）病気のお母さんが元気になるサラダ作り 3年：「すがたをかえる大豆」（光村図書）大豆の秘密と食べ物の調べ学習への発展 4年：『「かむ」ことの力』歯や体の健康にとっての「かむこと」の大切さ 6年：「カレーライス」心の健康と調理の味付けの苦労 ：「生き物はつながりの中に」「森へ」心の健康や命のつながり ：「みんなで生きる町」だれがも安全、便利に、そして安心して暮らせる社会 ：「平和のとりでを築く」原爆による健康被害	
	理科	植物の発芽、成長、結実 動物の誕生 生物と環境	（5年）植物を育て、植物の発芽、成長及び結実の様子 魚には雄雌がある、人は母体内で成長し生まれる等 （6年）人と他の動物の体、生物と環境のかかわり等
	生活科	学校と生活 家庭と生活 動植物の飼育・栽培 自分の成長	学校の施設や先生 家族と自分の役割、規則正しい生活 動植物の変化や成長 自分の成長、支えてくれた人への感謝等
	家庭科	家庭生活と家族 日常の食事と調理の基礎 快適な衣服と住まい 身近な消費生活と環境	自分の成長と家族について等 食事の役割や栄養を考えた食事等 衣服の着用と手入れや快適な住まい方について等 環境に配慮した生活の工夫等
中学校	社会科 （地理的分野） （公民的分野）	世界の様々な地域 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則	アメリカ合衆国における合理性・経済性を求める農業等 エイズ患者・HIV感染者などへの差別を取り上げ、人間の尊厳についての考えや基本的な人権の尊重等
	理科 （第2分野）	動物の体のつくりと働き 生物の成長と殖え方 遺伝の規則性と遺伝子 自然と人間	脊椎動物の体のいろいろな器官の働きや体の仕組み等 細胞の構造や細胞分裂、生物の成長、有性生殖と無性生殖 交配実験の結果から、親の形質が子に伝わる時の規則性等 生物相互のつながりなど自然と人間とのかかわり方等
	技術・家庭 （家庭分野）	家族・家庭と子どもの成長 食生活と自律 衣生活・住生活と自立	自分の成長と家族や家庭生活とのかかわり、幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割、家庭や家族の基本的な機能と家庭生活と地域のかかわり等 中学生の食事と栄養、日常食の献立と食品の選び方、日常食の調理と地域の食文化等 衣服の選択と手入れ、住居の機能と住まい方、衣生活、住生活などの生活の工夫等
高等学校	理科 （生物基礎） （生物）	生物と遺伝子 生命現象と物質 生殖と発生 生物の環境応答 生態と環境 生物の進化と系統	生物の特徴、遺伝子とその働き 細胞と分子、代謝、遺伝情報の発現、遺伝情報の発現等 有性生殖、動物の発生、植物の発生 動物の反応と行動、植物の環境応答（※タバコ、アルコール他薬物の害、HIV感染等にかかわる場面がある） 個体群と生物群集、生態系（※環境問題） 生物の進化の仕組み、生物の系統
	家庭科 （家庭基礎） （家庭総合）	人の一生と家族・家庭及び福祉 生活の自立及び消費と環境 人の一生と家族・家庭 子どもや高齢者とのかかわりと福祉	青年期の自立と家族・家庭、子どもの発達と保育、高齢期の生活、共生社会と福祉 食事と健康、被服管理と着装、住居と住環境等 人の一生と青年期の自立、家族・家庭と社会 子どもの発達と保育・福祉、高齢者の生活と福祉、共生社会における家庭や地域
	（生活デザイン）	生活の科学と環境 人の一生と家族・家庭及び福祉 食生活の設計と創造	食生活の科学と文化、衣生活・住生活の科学と文化 青年期の自立と家族・家庭、子どもの発達と保育、高齢期の生活、共生社会と福祉等 家族の健康と食事、おいしさの科学と調理、食生活と環境、食生活のデザインと実践等

(3) 道徳の時間（小・中学校）

ア 目標

学校における道徳教育は、学習指導要領総則において、「人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心をもち、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図るとともに、公共の精神を尊び、民主的な社会及び国家の発展に努め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し未来を拓く主体性のある日本人を育成するため、その基盤としての道徳性を養うこと」を目標としている。

また、学校における道徳教育は、道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであり、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合し、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道徳的実践力を育成するものとする。

イ 健康教育にかかわる内容（小学校第5学年及び第6学年の例）

(ア) 主として自分自身に関すること

生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛ける。

(イ) 主として他の人とのかかわりに関すること

互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し助け合う。

(ウ) 主として自然や崇高なもののかかわりに関すること

生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。

(エ) 主として集団や社会のかかわりに関すること

父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする。

(4) 特別活動

特別活動においては、学級活動やホームルーム活動における保健安全指導、委員会活動、学校行事の健康安全・体育的行事など、健康教育を推進していく大きな場面が多くある。

ア 学級活動やホームルーム活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として、学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てるものである。その内容として、日常の生活や学習への適応及び健康安全に関することを取り扱う。

イ 児童会・生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として、よりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てるものである。その内容として、異年齢集団による交流、児童生徒の諸活動についての連絡調整、学校行事への協力、ボランティア活動などの社会参加などの活動を行う。

エ 学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるものである。全校又は学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行う。特に、健康安全・体育的行事では、健康診断をはじめ、各学校で心身の健全な発達や健康の保持増進などに向けた活動が行われていると思われる。

(5) 保健指導の機会と特質

保健指導の機会		指導の特質	指導の方法	養護教諭のかかわり	備考	
集団の保健指導	学級活動・ホームルーム活動	○学級を単位とした計画的、累積的な指導 ○問題解決のための実践的な能力や態度の育成 ○多様な学習活動の展開	○話し合い活動・係の活動を通して、児童生徒が自主的に実践的に問題を解決することができるようにする。 ○児童生徒が当面している健康問題をとらえ、主体的に問題を判断し対処できるよう、計画的かつ継続的に指導を行う。 ○指導の効果を高めるための養護教諭とのチームティーチングなどを取り入れて専門性を生かした指導を実施する。	○専門的な知識や情報の提供 ○児童生徒の健康や安全の実態に即した指導 ○学級保健活動との一貫性のある指導 ○学級担任への協力、援助及び資料提供、教材作成の協力 ○学級担任とのチームティーチング	○食中毒やインフルエンザなどの発生時には、機を失わず、適時の保健指導を行う。	
	児童会活動・生徒会活動	○学校生活における健康に関する諸問題を解決するために話し合い、実践活動を行う。	○代表委員会、生徒評議会（中央委員会）、保健委員会をはじめとする各委員会の活動を通して、児童生徒が自発的、自治的に学校における健康問題について話し合い、解決するために実践活動を行うよう指導する。 ○集会活動を通して、健康に関する諸問題を協議したり、委員会の活動状況や成果を発表する機会とする。	○専門的な知識や情報の提供 ○養護教諭の直接的指導		
	クラブ活動	○同好の児童をもって組織するクラブにおいて、保健・環境問題への興味・関心を追求する活動を自発的、自治的に行う。	○科学クラブ、環境クラブ、家庭クラブなどを通して、飲料水の検査、川の汚染度調査、食品添加物の検出など、自分たちの生活に直接かかわる環境や食品をめぐる問題への取り組みが考えられる。研究成果は、学級活動や児童会活動の中で活用していく。クラブ活動に伴う保健指導は、それぞれの特質に応じて随時行われるようにする。	○専門的知識や情報の提供		
	学校行事	健康の保持増進を目的とした学校行事	○行事本来のねらいが健康の保持増進を図るという点にあり、直接保健指導に結びつくものであり、行事を通して健康の重要性や自分の健康状態について理解を深め、健康な生活を営むための能力や態度を育成する。	○健康診断、運動会・クラスマッチ、校内美化活動、病気の予防などに関する行事の実施を通して、児童生徒が自分の健康状態、環境、病気の予防などについて、一層望ましい態度や習慣を体得できるようにする。 ○教育的な価値を十分活かすよう配慮する。 ○学級活動、児童生徒会活動及び各教科、道徳などの内容と密接な関連を図り、健康安全に関する指導の一環として充実を期する。	○企画・運営を中心に行う。 ○当日または直前に、全校的な集団の場における保健指導を行う。 ○実施後の個別指導を行う。	○学級活動の保健指導で、事前・事後の指導を適切に行い、効果を高めるようにする。
		それ以外の学校行事	○行事本来のねらいは他にあるものの、その配慮事項として指導を行う。	○儀式的行事、学芸的行事、遠足集団宿泊の行事などを通して、保健学習や学級活動等で習得した知識を生かし、病気の予防や健康安全に関する内容について、児童生徒が主体的に実践できる機会となるよう指導する。	○健康安全管理面からの配慮事項や行事を準備する段階で健康や安全に関する指導を行う。	○学級活動の保健指導で、事前・事後の指導を適切に行い、効果を高めるようにする。
個別の保健指導	日常の学校生活における保健指導	○「朝の会」「帰りの会」の時間の活用及び機会をとらえた	○児童生徒の気になる変化をとらえ、できるだけ速やかに、適切な指導を行い、解決を図るようにする。 ○随時健康問題を取り上げ、継続的に指導する。	○児童生徒の様子から問題点を発見し、保健指導を行うとともに、教職員に働きかけ、教育的視点で保健指導を作り出していくようにする。		
	個別指導	児童生徒が健康な生活を営むために必要な事柄を体得できるようにし積極的に健康を保持増進できる能力と態度を育てることを目指して個別の支援活動	○現在の健康問題を解決するための具体的な方法を学ばせる。 ○それを日常生活の中で実践させ、その過程を通して自分の健康にかかわる問題を判断させ、解決することができる能力を育てていくよう、指導する。	○一人一人の児童生徒の健康問題を解決するための援助・指導を行う。 ○児童生徒と一緒に考え、一緒に学習する姿勢を持つ。		

(6) 総合的な学習の時間

平成10年の学習指導要領の改訂においてはじめて設定された領域である。この総合的な学習の時間の指導の特性は、それぞれの学校の創意工夫によって学習を展開するものであることから学習指導要領においては、特に「内容」は示されていない。

したがって、この時間の展開に当たっては、構造的、総合的な課題として、国際理解、情報、環境、健康・福祉等が例示されているほか、児童生徒の興味・関心に基づく課題、地域や学校の実態、特色に応じた課題などについて、それぞれの学校の実態に即した学習活動を展開するものである。

今回の改訂で、一部時数が削減されることとなったが、「生きる力」の中核を占める思考力、判断力や表現力など「知識基盤社会」の時代においてますます重要な資質・能力を育てる学習として、一層重視すべきである。

「総合的な学習の時間」の特質

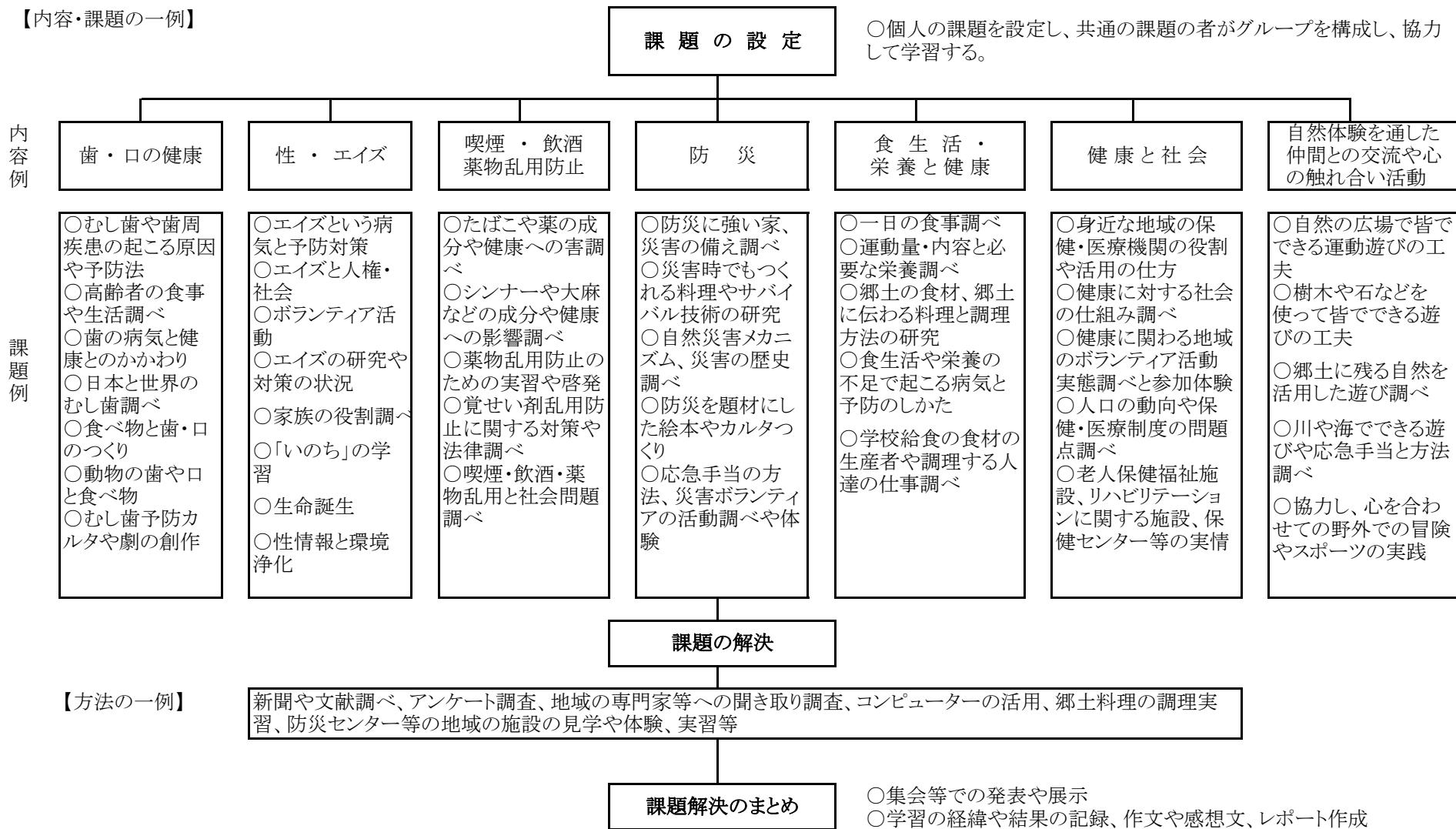
目標	横断的・総合的な学習や探求的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の（※在り方）生き方を考えることができるようにする。（小中共通）（※は高校）
教育課程への位置づけ	○教科、道徳、(外国語活動)、総合的な学習の時間、特別活動（ ）は小学校のみ ○教育課程に位置付けて実施 ・小学校：3・4・5・6学年年間70時間 ・中学校：1年50時間、2・3年70時間 ・高等学校：105～210時間（適切に配当）（特に必要がある場合は70時間）
学習活動の内容	（各学校においては、目標を踏まえ、各学校の総合的な時間の内容を定める。） ○学校の実態に応じて、例えば国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題についての学習活動 ○児童生徒の興味・関心に基づく課題についての学習活動 ○地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動 ○職業や自己の将来に関する学習活動など
配慮事項・指導者	○自然体験やボランティア活動などの社会体験、ものづくり、生産活動などの体験活動、観察・実験、見学や調査、発表や討論などの学習活動を積極的に取り入れる。 ○グループ学習や異年齢集団による学習などの多様な学習形態、地域の人々の協力も得つつ全教師が一体となつての指導にあたるなどの指導体制について工夫を行う。
評価	○教科のように数値的な評価はしない ○活動や学習の過程、報告書や作品、発表や討論などの学習の状況や成果について ○児童生徒のよい点、学習に対する意欲や態度、進歩の状況などを踏まえて評価する。 ○学習指導要録の記載は評定は行わず、所見などを記述する。 ○生徒自らが活動全体を振り返り、生き方を探るための評価を工夫する 例：・レポート、ワークシート、ノート、作文、論文、絵などの制作物 ・発表や話し合いの様子、生徒の自己評価や相互評価 ・活動の状況を教師が観察して評価

総合的な学習の時間での「健康」イメージ

【ねらい】

○健康的で活力ある社会の構築を目指し、日常の生活、医療、社会の制度、学術研究、人権、環境など、社会の多様な側面との関りから、健康問題を認識し、課題解決に取り組むことにより、社会の変化に主体的に対応できる資質や能力を養う。

【内容・課題の一例】



(7) 当面する健康上の課題と保健指導

項目	目標	内容
小児期からの生活習慣病の予防	健康を保つためには、食事、運動、休養の3つの要素をバランスよく組み合わせたよい生活習慣の確立に努めることが大切であることを理解し、実践に必要な能力や習慣を養う。	ア バランスのよい食事と望ましい食生活についての知識を身に付けさせる。 イ 適度な運動と十分な休養をとれるよう日常生活での工夫について考えさせる。 ウ 日常生活の変容をバックアップできるよう家庭の啓発をはかる。
歯・口の健康づくり	自分の歯や口の健康状態を理解し、ひいてはむし歯や歯肉の病気の予防に必要な歯のみがき方や望ましい食生活についての知識を身に付けて、歯や口の健康を保つのに必要な態度や習慣を養う。	ア 歯・口腔の健康診断に主体的に参加し、自分の歯や口の健康状態について知り、健康の保持増進に必要な事柄を実践できるようにする。 イ むし歯や歯肉の病気の予防に必要な歯のみがき方や望ましい食生活についての知識を身に付けさせる。
心の健康づくり	心身の機能や発達、心の健康についての理解を深めるとともに、豊かな心を持ち、たくましく生きるために必要な事柄を実践できるようにする。	ア 人の心身の健康状態を理解させるとともに、自他の心の発達について感心を高め、明るく楽しい生活を送るために必要な事柄を実践できるようにする。 イ 日常の心の健康について、その変容を支援できるよう保護者、学校医等、関係機関などの啓発を図る。
性に関する教育の目標	ア 心身の発育・発達や性に関する内容について理解し、健康の大切さを認識し、危険（リスク）を回避するとともに、自らの健康を管理し、改善することのできる能力を育てる。 イ 生命や人格の尊重、男女平等の精神の下に自己や他者を尊重する態度を育み、望ましい人間関係を築くことができる資質や能力を育てる。 ウ 家庭や社会の一員としての在り方を理解し、性に関する諸問題に適切に対処するとともにより良い家庭や社会づくりに向けて責任ある行動を実践することのできる資質や能力や資質を育てる。	ア 子どもの発達段階に応じて、心身の発育・発達や性に関する内容について理解し、性行動に伴う危険（リスク）を認識し回避するとともに健康の大切さを認識し、自らの健康を管理し、改善することのできる能力を育てる イ 低学年の段階から発達段階に応じて、人間尊重、男女平等の精神の徹底を図り、子どもに豊かな男女の人間関係を築く資質や能力を育てる。 ウ 子どもが家族や社会の一員として必要な性に関する基礎的・基本的事項を習得させ、責任もって行動し、直面する性の諸問題に対して適切な意志決定や行動選択できる資質や能力を育てる。さらに、それぞれの立場から社会環境の改善に主体的に参画し、より良い家庭や安全・安心で住みやすい地域社会づくりに努める態度を育てることも重要である。
エイズ教育	エイズの疾病概念、感染経路及び予防方法を正しく理解させ、エイズを予防する資質や能力を育てるとともに、人間尊重の精神に基づきエイズに対するいたづらな不安や偏見・差別を払拭する。	ア エイズの概念及び現状 イ HIV（エイズウイルス）の感染経路 ウ HIV感染とその経過 エ エイズの予防 オ エイズに関する不安や偏見・差別の払拭
喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する教育	児童生徒の喫煙・飲酒・薬物乱用を未然に予防し、生涯を通して健康・安全で活力のある生活を送ることができるような資質や能力を育てる。	ア 喫煙行動、喫煙のもたらす様々な影響 イ 飲酒行動、依存性薬物としてのアルコール、飲酒のもたらす様々な影響 ウ 薬物乱用・依存の成り立ち、薬物乱用の心身への影響、薬物乱用防止の対策、※共通して（意志決定能力の育成）
環境教育	ア 児童生徒の心身の健康の保持増進を図るとともに、清潔で明るく美しい快適な環境をつくり、豊かな心を育成する。 イ より良い環境を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。	環境衛生に対する関心を高め、健康の保持増進にはよい水、よい空気及び日光が欠くことのできないものであることを理解させ、自ら環境を改善し、快適な環境で生活しようとする態度や能力を養う。